

三次ゆりか 活動報告



平成29年11月発行

第5号

安心・安全な江東区 子育て・産後ケア1番の江東区に

- ひとり親支援（自立支援）
- 子育て（教育）
- 江東大家族（孤独を失くし、経済効果）

4~10月の活動の一部をご報告します！

わたしが政治をおもしろくする！



4月

サムライエンパイヤと重願寺、壺蔵寺、正覚寺にて和をアピール。江東区はお寺が多く安らげます。



5月

東峯サライにて母の日ポットラックパーティーを行いました。たくさんの方が参加しました。



医介塾という医療介護塾に参加しました。いつもこちらで現場の声を聞いたり勉強になります。



6月

政治のハードルをさげ気楽に話せる議員になれるように皆さんとホテルシェフとの料理教室をはじめました。



ホームスタートのホームビジター養成講座に参加しました。産前産後ケアとして利用していただきたいです。



7月

30センチの髪の毛をヘアドネーションをしました。小児がんの子に届けるためたまに伸ばします。



ベビーカーチャレンジをしました。子連れで気軽に電車やバスに乗れるように鉄道会社にアプローチしています。



江東微魔女会ではクルーズをしました。江東区を海から眺め、江東区が好きの方々と年に数回集まっています。



8月

江東区総合防災訓練。首都直下地震に備え地域防災力を高めましょう。ぜひ皆さん参加してください！



9月

江東リハビリテーション病院が開院しました。江戸川区選出の上田令子都議と視察いたしました。



母校の都立紅葉川高校の運営委員になりました。素晴らしい高校になっていくように努めてまいります。



10月

保活をしているママたちの会に参加してきました。毎年保育園相談会を行っていますがとても参考になりました。



定例会報告

今月で次女も一歳の誕生日をむかえます。あっという間の1年でしたが、それはそれは長く感じたような気がします。産前産後ケアがいかに重要か再認識した期間でした。ワクチン接種の意見書には反対をいたしました。ワクチンに関してはすぐ決断せずよく議論をしてからすすめるべきと考えております。



予算特別委員会質問 答弁内容（抜粋）

Q ゆりかご面接や面接時と産後に送られるプレゼントは皆さんとても喜んでいられる。家庭状況で欲しいものが違うのでより利用者に喜ばれるとこちらをカタログ制度にしてみたいか？

A プレゼントの内容に関しては選定する機会があることに研究をしていく

Q 母子手帳を渡すタイミングで各家庭が幼稚園に通う予定なのか、仕事があり保育園に預けたいのか、育休が取れるのか、などをヒアリングし、データ化べきと思いますが区の見解を伺う。

A そうしたことは考えていない

Q 低体重や障がいを持って生まれた子への配慮ある母子健康手帳を作ることも検討していくべきと考えますがいかがか。

A 母子手帳を作成予定はないが丁寧に慎重な支援をおこなっていくところ

Q 手ぶらで健診に行けて出産ができるように医療機関と連携をとり、14回分の費用助成を行っているところ全額の助成を行うなどの仕組みを作れないか。

A 今のところ難しいが生保、非課税住民の方に負担をなくす制度を設けている

Q 利用しにくい点もある乳房ケアは産後4ヶ月未満という期間を撤廃し、授乳してる方対象とすべきですがいかがか。無料お試しチケットのようなものを母子手帳や今行っている妊婦検診の中に入れることはできないのか？

A 延長は考えていない。周知し利用の促しを図っている。

Q 医療的ケアが必要な児童生徒へ体制は整っているのか。また、どのように考えているのか。

A 主治医の意見に基づき介助員を配置して支援に当たっている。今後は合理的配慮に基づいた就学支援を行うため、医ケアの体制について検討していく。
幼稚園、保育園、療育機関を通して、就学相談のリーフレットを配布と区のHPでも紹介し周知の徹底にも努めている。相談の充実にも努めていく。

Q 公園内のタバコの煙が子供達の健康被害となりかねないとの声が届いておりますが、喫煙スペースをすべての公園に条例で定めるか、すべての公園の分煙スペースを作るべきかと考えるが見解を伺う。

A 看板で案内をしている。地元の要望があれば地元の調整をとる。

Q 東雲から豊洲にかかる東雲橋の場所に分煙スペースを設けることは考えてないのか伺う。

A 民地内ということで灰皿の管理者に伝えていきたいと思っている。

その他の質問は三次ゆりか HP や江東区議会の HP に細かく記載してありますので、ご覧ください。

予算特別委員会質問を終えて、わたしの感想

委員会質問は子育てお母さんたちの声を質問にしております。公園に行く喫煙してる人たちで子どもたちを遊ばせられない、医療的ケア児の親の人権を守ってほしいのでなんとか寝る時間を確保したり仕事を諦めないようにとの声を質問にぶつけたりしています。
今回、放課後等デイサービスまつぼっくり子ども教室、障害児保育園ヘレン東雲に視察に行きました。
まだまだ知らないことばかりですが現場を見て、保護者の声を聞いて区に働きかけていきます。



みなさまの声の反映報告

- 豊洲の横断歩道に段差があり、ベビーカーと手押し車が通りやすいように段差をなくしました。
- 電車で女性専用車両ができるなら子育て優先車両をつくらせていただけるようにベビーカーチャレンジとして鉄道会社に働きかけてます。



政治に関わって
いくと、
変えられるかも！



三次ゆりかプロフィール

1985年5月1日生まれ。江東区立東雲小学校、深川第五中学校、都立紅葉川高校卒。
視覚障がい者だった祖母と父親の元で育つ。23歳で出産、いったん仕事を中断するもシングルマザーとなり起業。預け先に困った経験から自分のように困ってる母親も少なくないのでは…と、公私に渡る、子育て・母親支援のイベント企画、事業支援を展開。

2015年江東区議会議員選挙 初当選。建設委員、医療介護制度特別委員会 委員

活動歴

- ママパワーが日本を変えると信じ、ママを支える活動 J★mothers 設立
- BS フジ「ママボンキッキ」レギュラー過去出演
- 書籍「やっぱりゆりかはいくじなし★～ママが楽になる育自の方程式～」

発行人 三次ゆりか / 江東区豊洲 5-5-1-412 / E-MAIL info@3next.co.jp



Twitter、
facebook も
やっています！

LINEはこちら

